当協会友田副会長が福山市内の小学校にて出前授業を実施 〜福山と世界を繋ぐ海運と海族(かいぞく)を紹介〜

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、商船や海事施設などの見学会、 出前授業やオンラインコンテンツの制作など各種活動に取り組んでおります。

今般、11月28日(月)に当協会友田常勤副会長が広島県福山市立日吉台小学校5年生48名を対象に、「福山と世界の架け橋~海運と海族~」と題した出前授業を実施しましたので、その模様をお知らせいたします。今回の出前授業は、当協会より海事関連諸団体が制作したDVDなど各種資料を同校に提供したことが契機となり、海事教育推進の一環として同校より要請を受けたものです。



福山の主要産業である鉄鋼・繊維産業および日々の暮らしと海運の関わりを説明し、福山と世界が海運で繋がれていることや、不自由ない生活を送れるという当たり前が、船員をはじめとした多くの人に支えられていることへの気づきを導きました。

<日本の特徴>

まず、日本は四面環海の国であり、食料品やエネルギー資源など身の回りの様々な物を海外からの輸入に頼っていることをクイズも交えながら紹介、日本の特徴として貿易が大切な役割を果たしていることを説明しました。

<日本における海運の役割と活躍する船の紹介>



次に、そんな貿易活動における海運の役割について、日本の貿易量の99.6%を海運が担っていることを説明し、海運の重要性を伝えました。

また、新型コロナウイルスによる水際対策などがあったにも関わらず、私たちが普段通り生活できている理由として、海運が物流を止めないという使命のもと輸送に従事していることを伝え、「私たちの当たり前が船員をはじめとする多くの人によって支えられている」ことを強調しました。その後、コンテナ船、ばら積み船や自動車船など、輸送で活躍する様々な船を紹介しました。

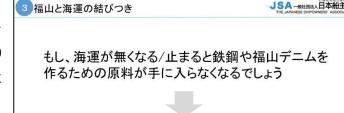
<福山と海運の結びつき>

そして、福山の主要産業として鉄鋼産業と繊維産業(福山デニム)を例示し、それら製品を作るための原材料(鉄鉱石・石炭、綿)の輸入や、製品の輸出において海運が活躍していることを説明し、福山と海運が密接な関係性にあることを紹介するとともに、福山と世界を海運が繋いでいることを話しました。

また、鉄鋼産業の説明においては、JFE グループより提供があった鉄鉱石・石炭のサンプルを活用しながら、JFE スチール福山製鉄所が日本の粗鋼生産量の約 1/10を担ってることを伝え、地元産業が日本全体に大きく貢献していることを紹介しました。

さらに、福山港に入港する船種(ばら積み船・コンテナ船)、船型や上記原材料の輸送ルートなども併せて紹介し、児童に海上輸送のイメージを掴んでもらいました。





モノつくりの街である福山にとって、海運は 切っても切りはなせない関係にあります!

使用したスライド資料の一部

<船で活躍する船員(海族)>



その後、船を動かす船員(海族)の業務内容や船内での生活、さらに満点の星空をはじめとした船上だからこそ見られる絶景を紹介しました。併せて、船を動かすためにはチームワークが極めて重要であり、チームワークは船員ひとりひとりのシーマンシップや多様性を尊重する気持ちから生まれることを強調しました。

<環境にやさしい船>

さらに、GHG(温室効果ガス)排出量削減など海運業界の環境保護に向けた取り組みについて説明、その例として「Sea Wing」や「ウィンドチャレンジャー」を映像とともに紹介しました。そして、より高い目標として、GHGネットゼロに向けてアンモニアや水素といった GHG を排出しない次世代燃料船の開発も進めていることを併せて紹介しました。





<最後に>

4つのキーワード「99.6%」「24時間ノンストップ」「チームワーク」「環境にやさしい」から授業をおさらいするとともに、「将来皆さまが暮らしを支える海運業界の仲間、海族(海の家族)になってくれると嬉しい」というメッセージを伝え、児童たちはしっかりとそのメッセージを受け止めている様子でした。

授業後の質疑応答では、児童からは「制服の腕章の金筋間の色は、航海士や機関士で何故違うのか?」「海外から日本に運ばれる荷物の扱いが多い港はどこか?またそれは何故か?」など多くの質問が寄せられ、友田副会長は夫々に丁寧に回答しました。

児童からは「普段の生活や授業では学べない船の中まで知る事ができ、海運に対する理解が深まった」といった感想が寄せられた他、同校近藤校長先生からも「海運を軸に自分たちの生活や福山との結びつきを考える内容であったうえ、児童たちは環境配慮への意識を高め、船員への憧れも持ったようだ」とのコメントがありました。

なお、福山市内の小学校では、当協会メンバー会社による出前授業が例年実施 されております。

当協会は今後とも、海事関連諸団体と幅広く連携しながら、各種資料提供や出前授業などを通じて、海事産業をより教育に取り上げてもらえるよう広報活動に注力してまいります。

以上